



お笑いの
会場でも

▲どの会場もたくさんの人で溢れていて、来場者をスタッフが誘導していました。入場規制のかかる会場もありました。



大迫力のパフォーマンスの連続でした!



KDC

Kokusai Dance Club ダンス部

ダンス部は、どのチームも力があって、それぞれジャンルに合わせた迫力のあるダンスを次々と披露してくれました。

体育館は大勢の客で埋め尽くされ、すばらしい盛り上がりを見せました。

また、ダンスだけでなく衣装や照明などにも力を入れていて、クオリティの高い演出でした。特に「クレイジー」というジャンルの演出が面白く、女装もすごかったです。

お化け屋敷

お化け屋敷の教室の前は、大勢の客で溢れていました。並んでいる間も、教室の中から不気味な物音や大きな悲鳴が聞こえてきて、鳥肌が立ちました。

中へ案内されると、ミッション系のお化け屋敷で、怪物に関する資料を集めていくというストーリーになっていました。

学生が演じているお化けは、すごくリアルで怖かったです。



◀お化け屋敷のお化け。メイクや服装などが、とてもリアルでした。

超リアル!

国際ボランティア同好会



色々な形の
地雷のレザリカ

▲平和について考える貴重な機会になりました。

見たことのない形の地雷があり、あまりの大きさに驚きました。地雷は小さくても威力を持つものなので、少し悲しく思いました。

飲食



▲「なんちゃってハッ橋」ビザ味(手前)とあんこ味。

国際高校ということもあり、とても国際色豊かな食べ物がたくさんありました。特に、ハッ橋に見立てたビザは、皮バリバリ、中はとろっとしたチーズでとてもおいしかったです!!

カジノ

カジノに参加すると、手持ちの金額として7000円分のゲーム専用のお札を最初に渡され、それを元手にいろいろな賭け事をしながら、お金を増やしていくことができます。

ダーツコーナーは意外に並んでいる客が少なかつたので、何回も体験することができました。他の賭け事コーナーも全て手作りで、クラス一体となってカジノ場を作り上げたことがわかりました。



◀手作りのルーレット盤。

▶最初に手渡された専用のお札。7000円。コツコツ貯めて手にできたのは2万9000円。

- 各クラスの生徒たちが全員で力を合わせ、一つの物を作り上げていたことがわかりました。(慧理那)
- 1日を通して、国際高校がいかにユニークで面白い学校かを身をもって感じる事ができました。(崇大)
- 舞台から装飾など、隅々にまで力が入っていました。国際色豊かで普段できないことをたくさんさせて頂きました。(亜実果)
- 他校の文化祭にはあまり行かないのですが、桜陽祭は国際色豊かなところが一番の特徴で、それがよくあらわれていた文化祭でした。食べ物も他の文化祭で売っていないような外国の料理でとても美味しかったです。また忍者のコーナーやジャバスタなど日本の事もきちんと視野に入れていて、文化祭が構成されていたので良かったです。(正姫)
- 初めての文化祭だったので、皆で楽しむことが出来た。各クラスの出し物も面白くてどれも印象に残るものだった。国際高校ならではの食べ物もあり、とても美味しかった。(愛里朱)

黒板アート

各クラスには、出し物に合った黒板アートが数多くありました。



▲2年F組



▲2年C組



▲1年D組



▲写真中央が、都立国際高等学校の鈴木真人副校長。

取材・文：岩城正姫、磯崇大、小泉慧理那、笹原愛里朱、森長亜実果